

子育て世帯に向けた 住宅のあり方

東京電機大学 建築学科

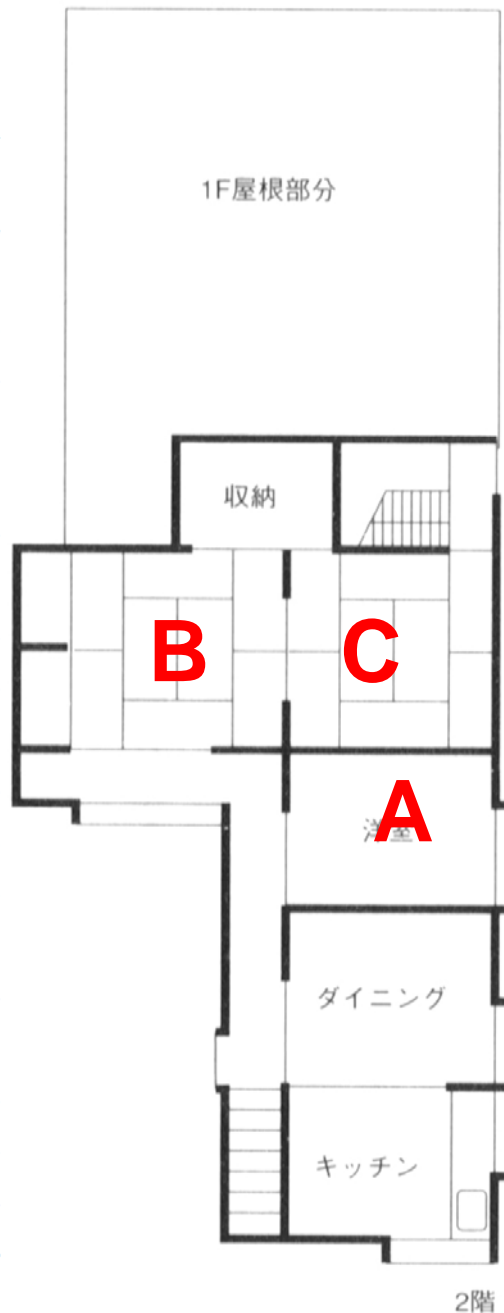
山田あすか

「建築計画」の講義の最初に、ある住宅の平面図を学生に見せます

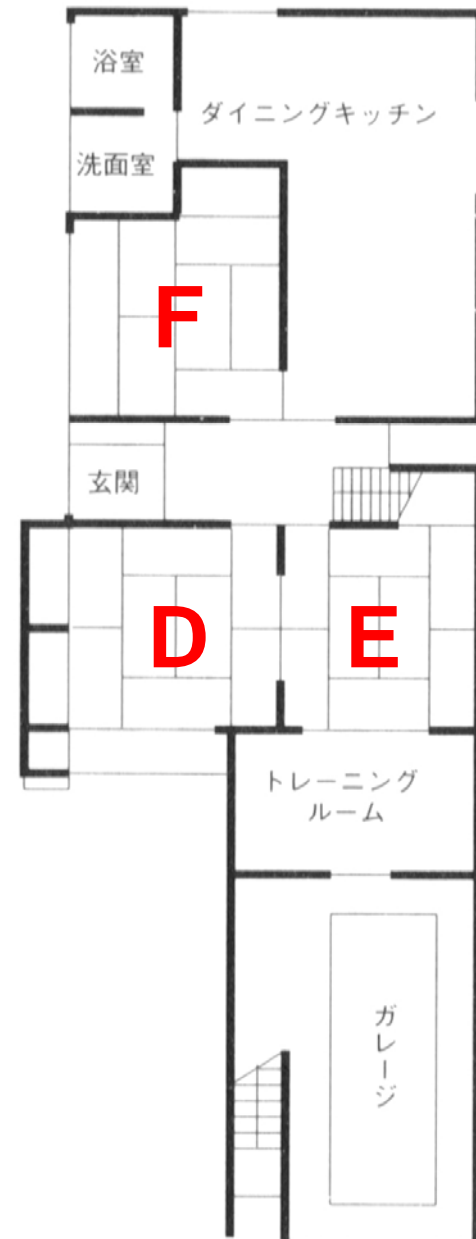
- このプランへの感想（違和感の有無）を聞いています。

【学生へのメッセージ】

- 家族の住まいとして「ゆがんだ」家は、必ずしも犯罪の遠因とはならない。
- しかし、犯罪を起こした少年らの育った家には、なんらかの「ゆがみ」がしばしば発見される
 - 家族が集まる場所や設えがない
 - 親や家族の滞在場所を通らずに自室に行ける動線



2階

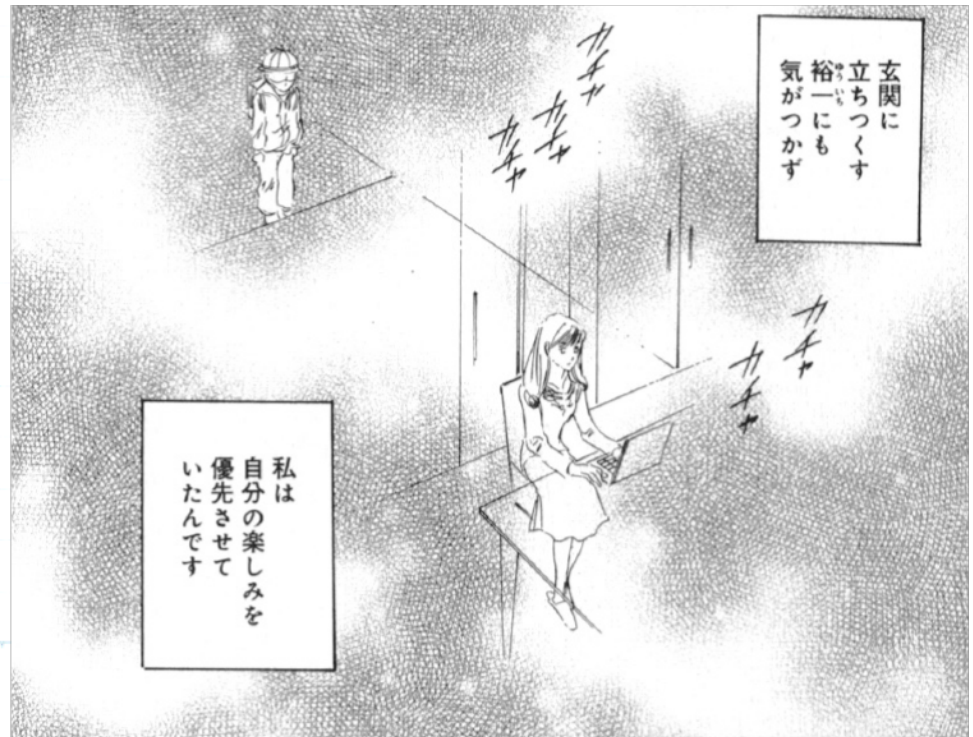
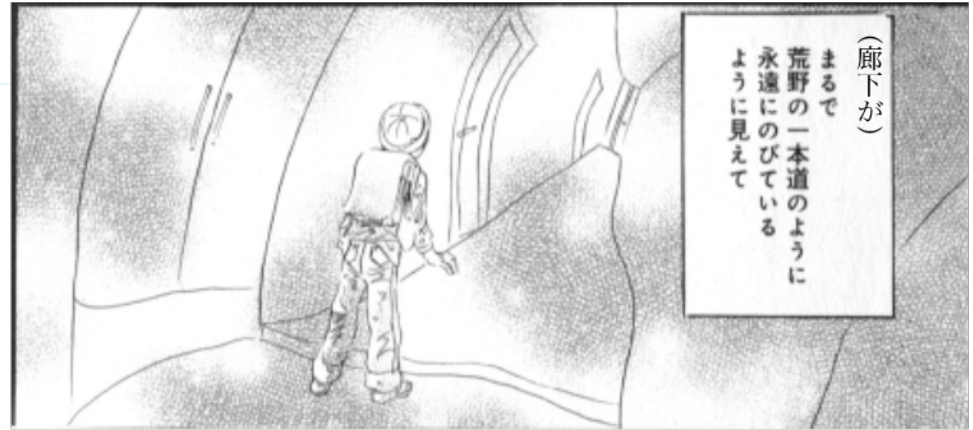


1階

『アイシテル —海容—』から

- ある少年犯罪を題材にした作品

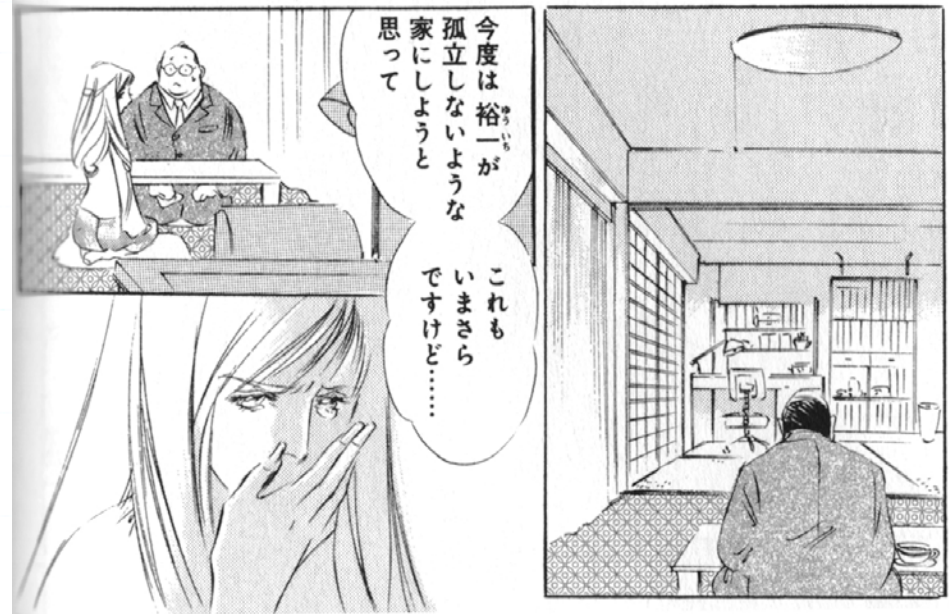
- ある事件に遭い、傷ついて帰ってきた少年は強く母親を求めるが、廊下奥の居間にいる母親は少年に気づかない
- 深く心に傷を負った少年は父親、母親から距離を置き孤立していく
- やがて彼は、哀しい犯罪の加害者になってしまう



おそらく、とても「よくある」間取り…



- 作品では、建築空間が事件の直接の原因とはもちろん描かれていない
- しかし、加害少年の母親は物語の後半で後悔している
 - 「今度は裕一が孤立しないような家にしようと思って」
 - 「これもいまさらですけど……」
- 住空間のあり方が間接的に少年の心の傷を深め、事件の遠因となったことが表現されている



- 事件はもちろん，犯人が引き起こしたものの。
- しかし，その事件を家・環境が支え，可能にしてしまった現実がある。
- 家族や設計者が 家や，生活や，環境のもつ「ちから」に無知で無自覚であったがために，事件を後押ししてしまったとも言える。
- 学生に最初に伝えているのは，「住宅（建築）」のちから（可能性）と，こわさです。

子育て世帯に向けた 住宅のあり方

として、よく言われていること

【家として】

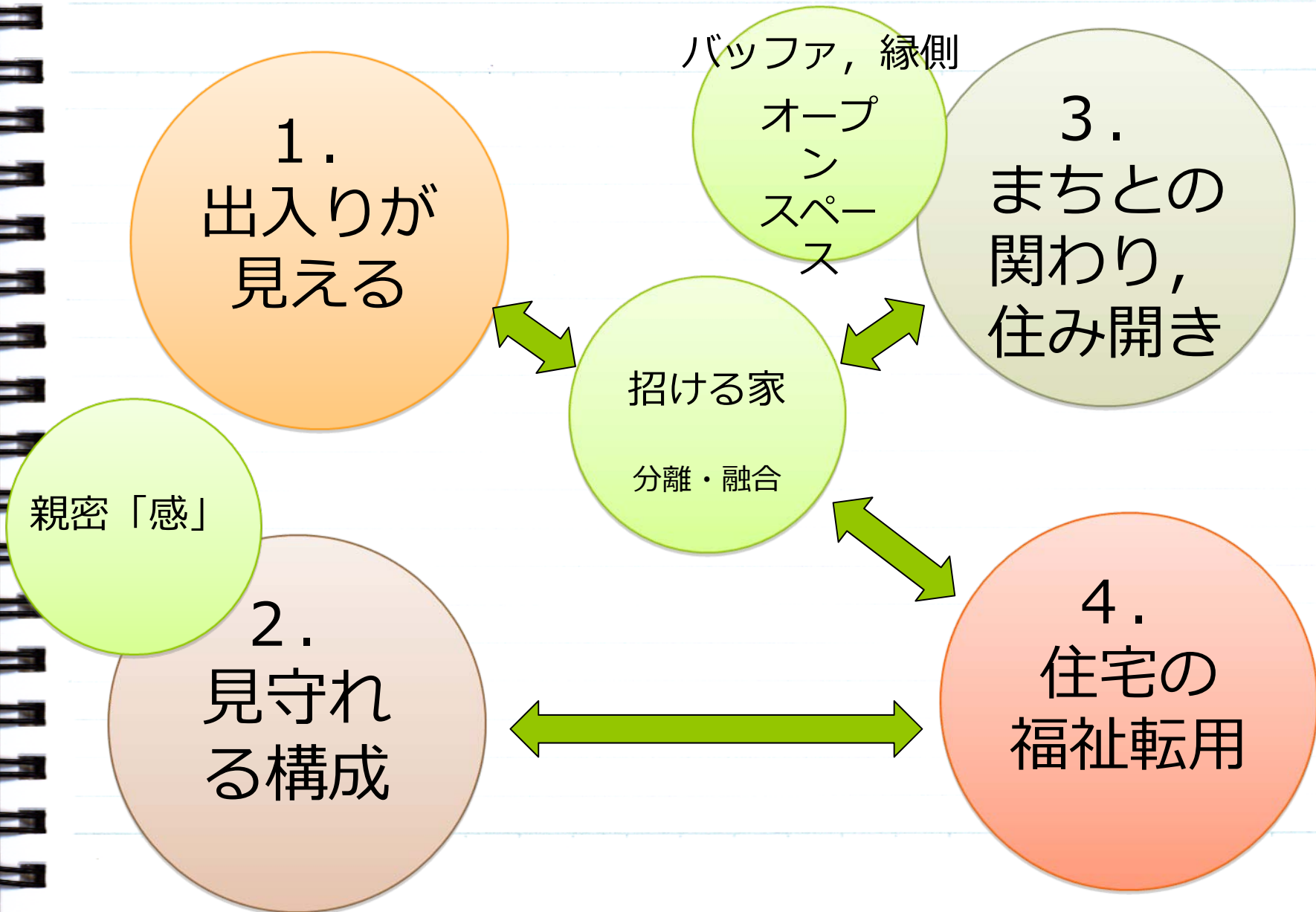
- 出入りが見える
- 見守れる構成
 - 台所など家事スペースから滞在空間が見える
 - 吹き抜けなどによる立体的な視線や気配の交錯
 - 遊べる外部空間の様子が見える
- 年齢に応じた可変性
- 家族と共有できる場、自然な関わりの仕掛け
- 感性を育む仕掛け（自然との関わり、アトリエ空間）

【まちとして】

- 遊び場のネットワーク
- 見守りと、隠れ家空間（遊びの原風景など）

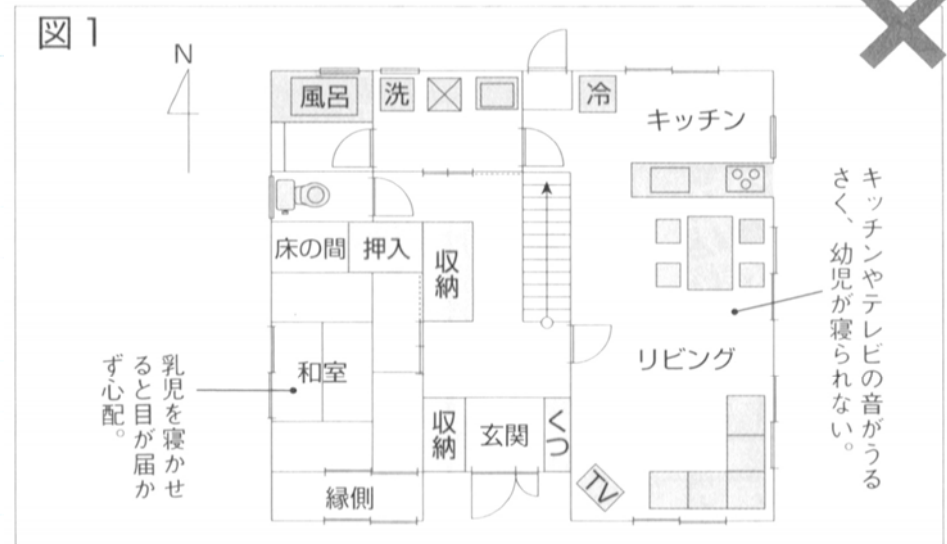
関心事

子育てを助ける家 について考えていること

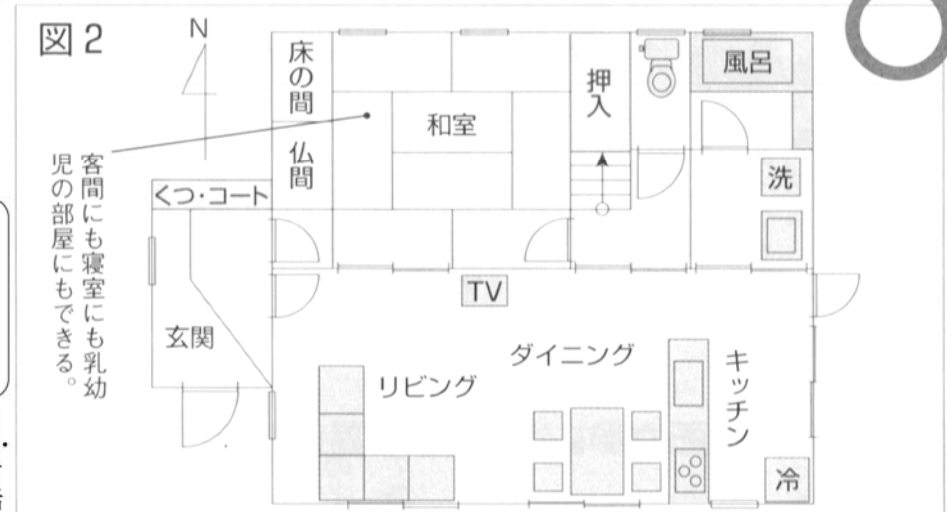


2. 見守れる構成

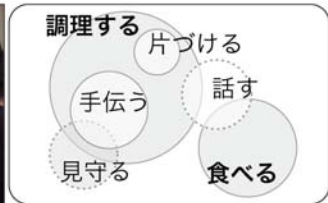
- 右： 上田康允『安らぐ家は「間取り」で決まる』，成美堂出版，2008，p.150
- 家事スペースからの見守りしやすさ



▲大手ハウスメーカーの設計。



▲北側に和室をおく方法。



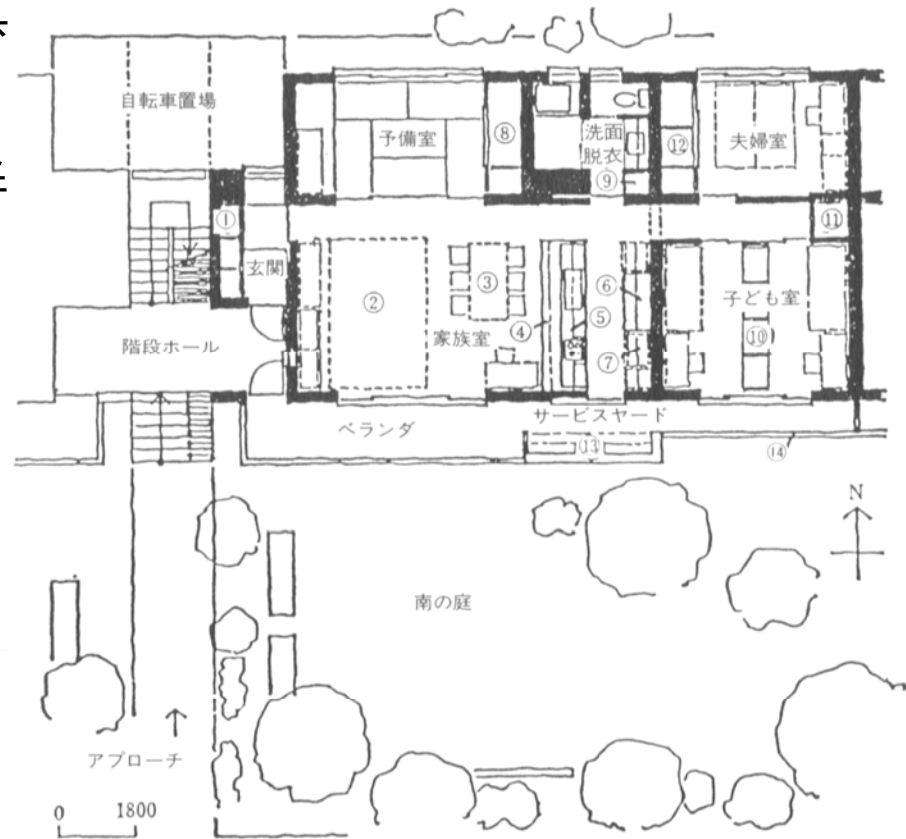
調理の合間に家族と話したり子供の世話をするなど、調理・食事には様々な活動が付随する。準備や後片づけなど生活習慣のしつけの場でもある。

招ける家 融合

- 生物学的に：営巣の理由は子育て
- 住居を構える現代的意味の大半も子育てにある

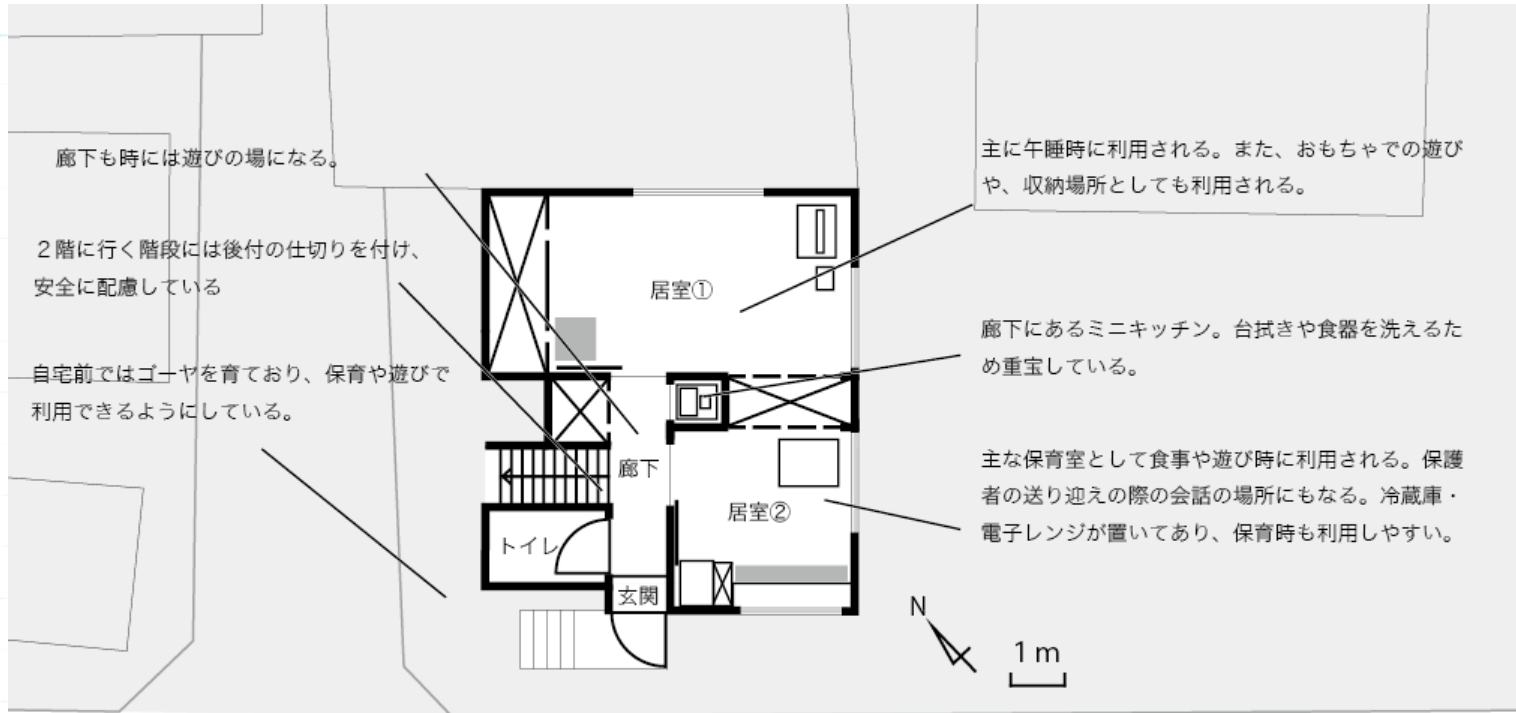
【公共住宅の提案例（山本厚生）】

- こどもとの関わりを重視した間取り
- 家族の一体感を重視
- 外部に出て行きやすく、他者との関わりを重視



- | | | |
|-----------|-----------|---------------------------------------|
| ①くつ入れ・物入れ | ⑧ふとん・物入れ | ○階段ホールは明るくゆったり |
| ②くつろぎコーナー | ⑨下着入れ | ○階段ホールからベランダ・サービスヤードへ、気軽な出入り |
| ③大きなテーブル | ⑩可動物入れ | ○家族室から南の庭が見わたせる |
| ④ひきだし・戸棚 | ⑪ふとん入れ | ○家族室は食卓を中心に、家事・炊事・くつろぎ・もてなし……の開放的な大部屋 |
| ⑤オープンキッチン | ⑫ふとん入・物入れ | ○プライバシーの必要にしたがって奥へ |
| ⑥食品・食器戸棚 | ⑬洗濯物干し | |
| ⑦洗濯機 | ⑭ふとん干し | |

招ける家 分離



- 保育ママさん宅として使われている住宅
- 居室側から入る・家族スペースと分離された構成が、「招きやすさ」

(失われた場) もてなす

- 伝統的な日本の住まいの「座敷」



- 「応接室」「縁側」の消滅



- 北側の「ウチ」：家族の部屋

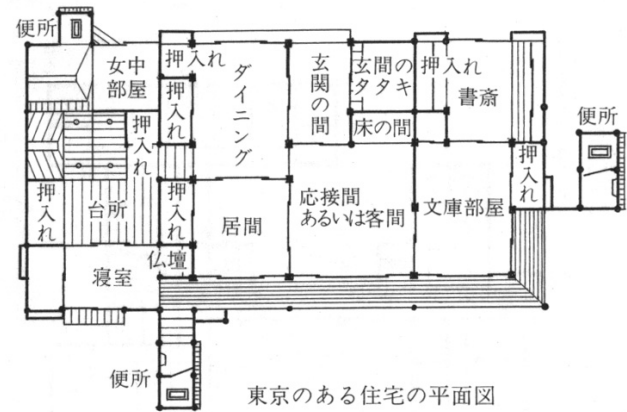


- 中廊下型住宅の「茶の間」



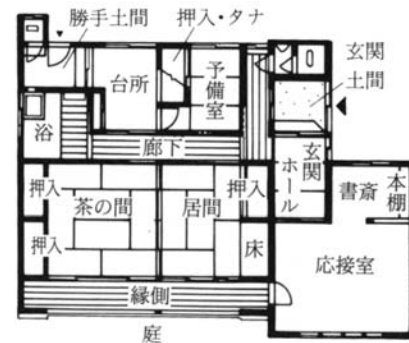
- 居間

→日本の住まいの閉鎖化



13 E. モースが記録した明治初期の東京の住宅*8

建築計画教科書



(h)大正時代 中廊下型住宅 (出典：岡田光正『新編 住宅の計画学』鹿島出版会、1996)



サザエさんの家の間取り



A series of horizontal blue lines are printed across the page, providing a guide for handwriting. The lines are evenly spaced and extend across most of the width of the page, leaving a margin on the left side.